

再評価結果(令和7年度事業継続箇所)

担 当 課:道路局 国道・技術課

担当課長名:西川 昌宏

事業名	一般国道2号 玉島・笠岡道路(Ⅱ期)				事業区分	一般国道		事業主体	国土交通省 中国地方整備局		
起終点	自:岡山県浅口市金光町佐方 至:岡山県笠岡市西大島新田							延長	9.4 km		
事業概要											
一般国道2号は、大阪府大阪市北区を起点とし、福岡県北九州市門司区に至る延長約680kmの主要幹線道路である。 玉島・笠岡道路(Ⅱ期)は、岡山県南西部に位置し、岡山県浅口市金光町佐方から笠岡市西大島新田を結ぶ延長9.4kmの高規格道路である。事業目的は、岡山県西部地域の交通混雑の緩和及び交通安全の確保、周辺地域の連携強化等である。											
H20年度事業化			H12年度都市計画決定			H24年度用地着手		H24年度工事着手			
全体事業費		約743億円		事業進捗率 (令和6年3月末時点)		約62%		供用済延長		O.0km	
計画交通量		49,500 ～ 57,800 台/日									
費用対効果分析	B/C			EIRR			総費用 (残事業)/(事業全体)	総便益 (残事業)/(事業全体)		基準年	
	(事業全体)			(事業全体)			280/778億円	2,976 / 2,976 億円			
	3.8			11.4 %			事業費: 228/726億円	走行時間短縮便益: 2,543/2,543億円		R6 年	
	5.8 [2%]						維持管理費: 52/52億円	走行経費減少便益: 354/354億円			
	7.3 [1%]						更新費: ー/ー億円	交通事故減少便益: 79/79億円			
	(残事業)			(残事業)			感度分析	(残事業)			
10.6			49.5 %			交通量	B/C=2.7～4.8(±10%)		交通量	B/C=7.4～13.2(±10%)	
14.3 [2%]						事業費	B/C=3.7～3.9(±10%)		事業費	B/C=9.8～11.6(±10%)	
16.8 [1%]							事業期間	B/C=3.6～4.1(±20%)		事業期間	B/C=10.1～11.2(±20%)
事業の効果等											
①円滑なモビリティの確保											
・渋滞損失時間の削減が期待される。											
・現道等における混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善が期待される。											
・笠岡市～岡山空港へのアクセス向上が期待される。											
②物流効率化の支援											
・笠岡市から水島港(国際拠点港湾)へのアクセス向上が期待される。											
・農林水産業を主体とする地域において農林水産品の流通の利便性向上が期待される。											
③国土・地域ネットワークの構築											
・高規格道路「倉敷福山道路」の一部として位置づけられている。											
・里庄町から倉敷市(日常生活圏中心都市)へのアクセス向上が期待される。											
④個性ある地域の形成											
・浅口市工業団地造成整備事業の支援が期待される。											
・倉敷美観地区(R5観光入込客数:約309万人/年)へのアクセス向上が期待される。											
⑤安全で安心できるくらの確保											
・倉敷中央病院(三次医療施設)へのアクセス向上が期待される。											
⑥災害への備え											
・岡山県地域防災計画における第一次緊急輸送道路に位置づけられている。											
・第一次緊急輸送道路である山陽自動車道、一般国道2号の代替路線として機能する。											
⑦地球環境の保全											
・CO2排出量の削減が期待される。											
⑧生活環境の改善・保全											
・NOX排出量の削減が期待される。											

※B/Cの値は、社会的割引率4%を用いて計算した場合の費用便益分析結果。また、比較のために参考とすべき値として1%及び2%を設定し、それに対応する費用便益分析結果を参考として併記している。(〔 〕内は社会的割引率の値)